

目次

施工のための準備と確認	2
オートスライドの施工	5
各種センサー・オプション設定	11
設定(再設定)について	20

オートスライドおよびオートスライド・ロック(鍵付きタイプ)は手動引き戸を、あとづけで既存の手動ドアを自動ドア化するキットです。AC100Vコンセントを使用し、配線はすべてコネクター式、自動でドア幅や重さを読み込むため、専門知識や電気工事資格は不要です。

オートスライドが設置できないドアについて

以下のドアにはオートスライドの設置はできません。

- a. 下戸車や、上吊機構などが故障しているドア。
- b. 設置場所が屋外、著しく高温多湿環境にあるドア。
- c. 重量が45kg以上、幅1500mm以上あるドア
- d. 自動ドア専用、ソフトクローズなどが内蔵されているドア。

設置可否確認については、オートスライド・ジャパンにお問い合わせください。

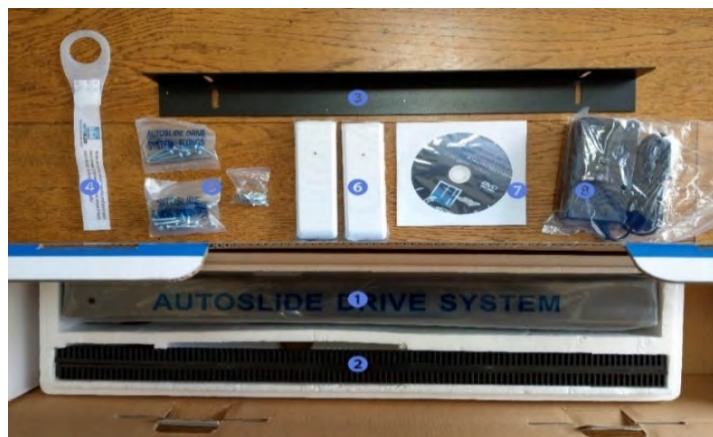
必要工具(電動工具に不慣れな場合は設置推奨いたしません)

- ①電動インパクト(ドリル)ドライバー (インパクト) ②プラスビット、10mmドリル等各種ビット
- ③金のかぎり ④その他各種工具。

- 1. オートスライド本体 2. レール 500mm×2
- 3. L字型ラック 4. ドア重量テスター(使用しません)
- 5. 汎用ビスセット※ 6. タッチスイッチ2個
- 7. 取説DVD 8. AC100V対応アダプター

同梱内容、製品形状は変更の可能性がございます

※付属ビスは汎用品です。木ネジ、テクスなど、お客様のドアに適切なビスをご用意ください。



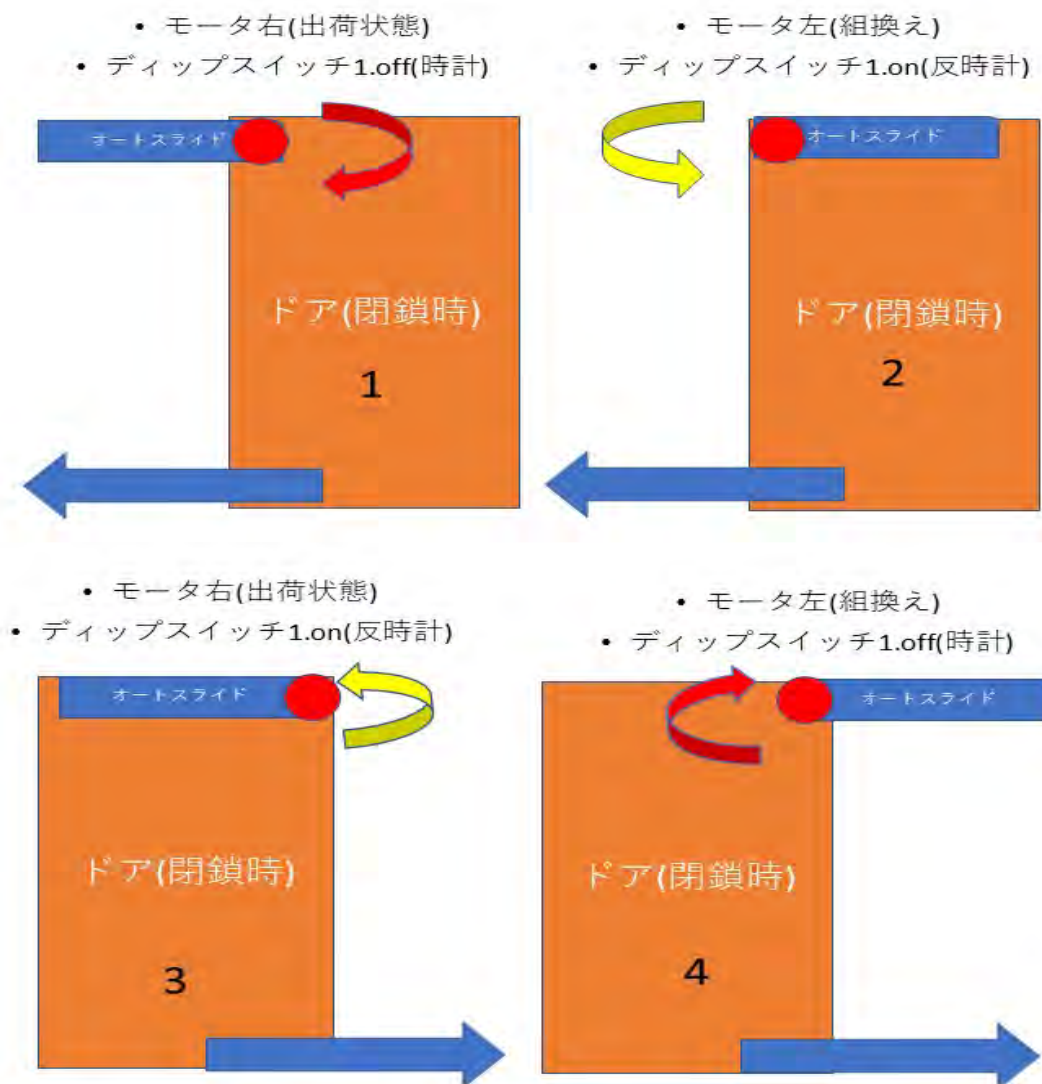
1. 施工のための準備と確認

オートスライド(オートスライド・ロック)の設置タイプを選ぶ

オートスライド(オートスライド・ロック)はドアにあわせ4つの設置タイプを用意しております。

下図は**オートスライドを設置する側からの図**となり、**出荷時はタイプ1の状態**です。

オートスライドの組換えとディップスイッチ



中央が出ているドアの場合は2か3で設置をご推奨します

引き違い戸は基本的にはタイプ1となりますが、ドア枠が邪魔する場合などは2のタイプをご選択ください。**左右引き分けの場合は1+4か2+3を組み合わせます。**

オートスライドを組み替える(タイプ3とタイプ4への組み替え)

タイプ3とタイプ4への変更は下記手順に従い、組み換え作業が必要です。



1. 本体カバーを外し、ギアの方向を交換

オートスライド本体の**右サイドカバー(プラスチック製、電源挿入部のないほう)**のネジを外し、本体カバーを外して、モーターのギアを反対側に交換します。付属の六角レンチを使ってください。、

※交換後は必ず六角レンチでギアを固定しているボルトをきつく締めなおしてください。

2. 本体のモーターとコントローラーの位置を交換





注意事項:

1. 組み換え時、コード部分を持つと断線の原因となります。必ずモーター部分をお持ちください。
2. モーター取り付け時は、ネジゆるみ防止剤(ロックタイト等)の使用を強く推奨いたします。
3. 組み換え後、ギアを再度締めなおすときに、しっかりと最後まで締めてください。ゆるいと、ドアが異常な動きをする原因となります。

組み換え作業中のお客様起因による落下、断線による故障は、弊社無償サービスの適用外となります。ご注意ください。作業が不安な方には有償組み換えサービスも行っております。お問合せください。

※オートスライド・ロック(鍵付きタイプ)について

オートスライド・ロックは常時施錠が必要なドアに設置する、鍵内蔵タイプのオートスライドです。

施工方法、設定方法はすべてオートスライドと同じとなります。違いは、解錠のためにオプション機器を必要とすることです。(3.各種センサーとオプション設定参照)

オートスライド・ロックの使用事例は常に鍵をかけなければならないセキュリティルーム、事務所裏口などとなります。万一のため、ドアが一か所しかないような場所への設置はおすすめしておりません。施設の避難経路にあたるドア基本的には設置は推奨いたしません。

2.オートスライドの施工

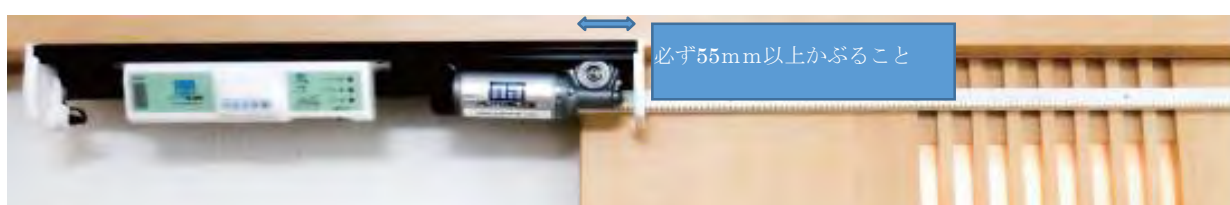
オートスライドの施工は、本体、レールのどちらを先にして問題ございません。

ここでは、比較的施工しやすい、本体を先に設置する方式をご紹介します。

2-1.本体設置位置の確認(正面)

正面か、ドアを閉めた状態で、**最低55mm以上、本体のモーター部分がドアにかかった状態とします。**

これはタイプ1～4すべてに共通です。(写真はわかりやすいようにレールがすでに設置されています)

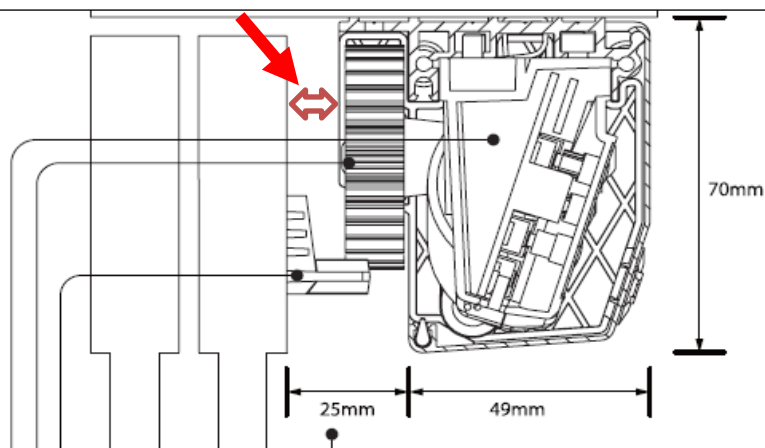


2-1b.本体設置位置の確認(見込・断面)

オートスライド本体は鴨居(無目)にとりつけます。

ドアおもてからは**5mm離して設置してください**。後ほど設置するレールに干渉しないためです。

ドアおもてから5mm離して設置してください



目安: ドア～本体ギア内側まで25mm以内としてください。

引き戸

引き戸に取り付けるオートスライドのレール

オートスライドのモーターのギア

オートスライド本体

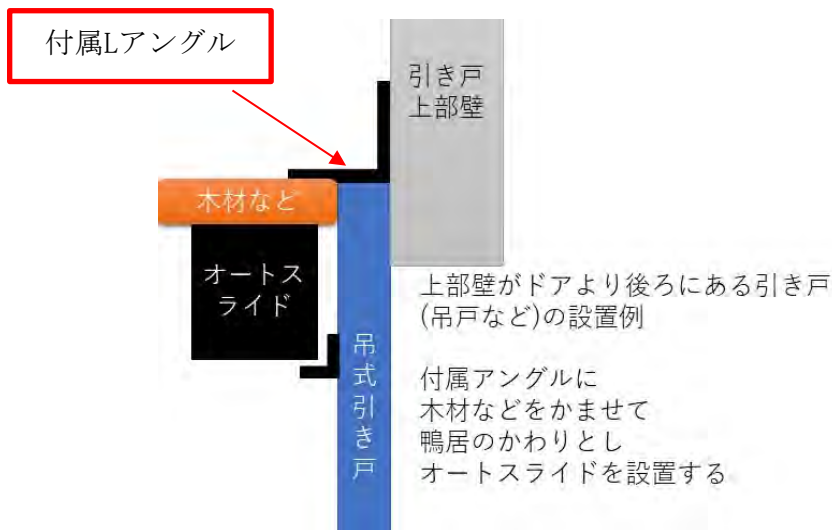
必要におうじて、Lアングル、木材などで鴨居を増設してください。オートスライドは、既存の経年劣化でも対応できるようにある程度、ゆらく設計されていますが、ドア表からギアまで5mmもおおよそでかまいません。ただし、あまりに誤差が大きいと、本体ギアがドアに設置したレールから脱落します。

※同梱のLアングルについて

付属Lアングルは無目、鴨居がなく、ドアと上枠が同じ高さ(ツライチ)を想定して、穴があけられています。お客様のドアに応じて、あらたに穴をあけていただき、ご使用ください。



また、下図のように、木材等とくみあわせて、ご使用ください。



2-3. 固定・ビス止め

設置位置が決まったら、本体をビス止め、あるいはLアングルに固定します。

取り付け穴はφ5、取り付け可能な穴はオートスライド裏側に複数あります。

必要な位置に穴がない場合は、ベース(アルミ製)に新規に穴開けをしてもかまいません。

落下不具合などのないように最低3カ所以上ビスをとめ、ゆるみがないようにしてください

2-4. レール施工の準備(切断)



標準同梱されるレール500mm×2本です。1000mm以下の場合、レールの切断が必要です。レールはアルミ材に軟質樹脂コートしたものです。糸ノコで簡単に切断できます。

付属レールキャップは装飾用です。はめると15mm(両端設置は30mm)開閉幅が短くなるため、必要に応じて設置してください。

2-5. レールをドアにビスどめする

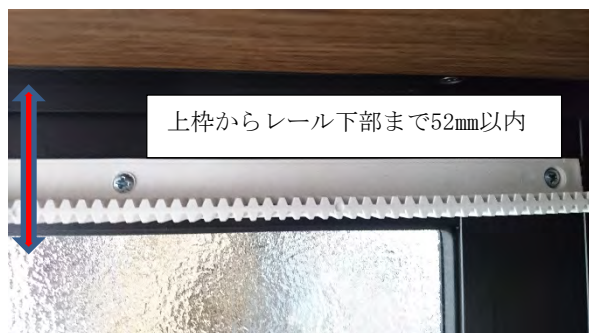
オートスライド本体の**ギア(歯車)**を**しっかりかみあうように直接レールをあてて**、レールの施工設置位置をきめます。

施工の最も重要なポイントです。この位置決めで、オートスライドの精度が決まります。レールとギアの嵌合(かんごう)が甘かったり、水平でない場合、不調や故障の原因となります。

注意:レールとギアは強めにかみあわせてください。ドアを引くとき、施工前より重いのが正常です。



およその目安として上枠からレールの下部までが52mm以内となります。それ以上だとギアが必ず空転しています。レール接合部はビスをとめることで結合します。(付属の接合金具は使用しません)



切断したレール端にも穴を開け、必ずビスをとめてください。(レールキャップ使用時は、穴空け不要)



横からみたとき、歯車はレールに完全にのりません。1/2～1/3ほど乗るだけで正常に動作します。



4.戸当たりを確認、設定する

オートスライドは戸当たりをドア幅と認識します。

戸当たりがない、ガタつく、ドアそのものがゆがんでいる場合、オートスライドの設定は完了しません。

必ず戸当たりを設置するか、修繕してください。

任意でドアの開閉幅を決めるときは簡易的に木材などで戸当たりをつくることができます。その場合、簡易的な戸あたりを除去したあとも、オートスライドの内の記憶回路が設定を保存します。

重要:手で引いたとき、設置前より渋く、空転することなく動いているか何度も確認してください。

2-6 ディップスイッチの最終確認後、電気配線処理



マニュアルのタイプ1～4のタイプの図を参考に、をコントローラ下部のディップスイッチを確認してください。1番左のスイッチ（direction）がオートスライドの引く方向を決定します。出荷時はOFF（手前側）となっています。



電源アダプターをオートスライド本体と接続し、コンセントにつないでください。（急に動きだした場合は）、オートスライド本体左の赤い主電源スイッチを一度きってください。

電源コードはドアの動きの邪魔にならないように、必ずモール等で配線処理してください。

2-7. オートスライドの設定（自動設定）

自動でドア幅、ドア重量を読み取ります。オートスライド・ロックも手順は同じです。

自動設定がうまくいかない原因は、施工にあります。ギアとレールのかみ合わせ等を確認し、ゆるすぎる、一部だけきついなどがないご確認ください。

注意 設定時に人感センサーのコード等はまだつながないでください。人感センサーが反応し、設定が完了しないおそれがあります。



1. ドアを閉めた状態にする
2. 電源を投入すると下のランプが順に動いて、ゆっくりとドアが動き出します。
3. ゆっくりとドアが1往復(ドア幅の確認)
4. 一度すばやくドアが動き、半分ほどで戻る(ドアの重さの確認)
5. ドアが停止、1番左**グリーンランプ**点灯で設定完了

2-8a.開閉テスト



コントロールパネル右に三つの※じるしのスイッチはテストスイッチです。

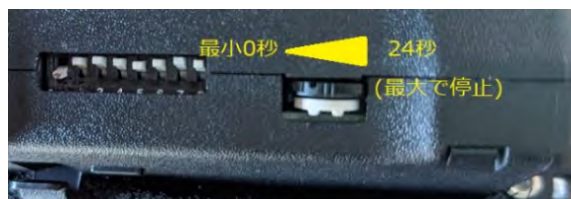
一番上の「INSIDE SENSER」か「OUTSIDE SENDER」のスイッチを押し、ドアが自動で動き、ふたたび閉じれば正常です。

2-8b.挟まれ防止機能テスト

オートスライドがしまってくるとき、手や固いものをおいて、ドアをとめてみてください。反転すれば正常に挟まれ防止機能がはたらいています。

2-9.開放時間の設定

opentimeボリュームを動かすことで最短0秒～24秒まで解放時間を選択できます。また最大にすることで、開放後回停止モード(ラッチ)とすることもできます。



開放後停止モード（ラッチ） 自動で開き、開ききると停止します。もういちどスイッチを押すまではドアを開放し、停止させままとなります。車椅子利用者などを想定した機能です。

オートスライドの一時停止

オートスライドには掃除や、物の出入りなどの際、一時的に自動ドアを停止させるボタンがついています。一時停止には、全開停止と緊急停止の二種類があります。



本体中央部の一番右の*スイッチをおしてください。押すたびにモード変更いたします

通常時は一番ひだりのグリーンの●が点灯します。

色	緑 ●	青 ⇄	赤	ペット
モード	基本モード(通常使用時)	全開停止	即時停止	使用せず

※一時停止時に無理矢理手でドアを動かさないでください。故障の原因となります。

※一時停止時どのモードでも、モーターが常に待機し、一種のアイドリング状態となっております。
長時間ドアを停止させる場合は一時停止ではなく、主電源をOFFにしてください。

参考:オートスライドのディップスイッチ設定

番号	英語表記	off(てまえ側)	on(奥)
1	Direction/learn	ドアを引く/往復で初期化	ドアを押す/往復で初期化
2	Slam Shut	モードオフ	最後にドアを強く閉める
3	Pet learn	なし	なし
4	N/O or N/O lock	なし	なし
5	MAX75%open power	モードオフ	通常の75%の出力で駆動
6	N/A	なし	なし
7	Toggle	なし	なし
8	Beeper	モードオフ	動作音が鳴る

3.各種センサー、オプション設定

オートスライドでは、あらゆるシーンでご使用いただけるように、さまざまなセンサーをご用意しております。快適にご利用いただくためには、センサーの選択がとても重要です。

	タッチスイ ッチ	手のひらリ モコン	人感センサ ー	手かざしセ ンサー	マット	オートスライ ド・ロック+テ ンキー
家庭	○	○	○	○	○	×
店舗・工場	×	×	○	△	△	×
感染対策	×	×	○	○	○	×
セキュリティド ア	×	○	×	×	×	○

※ △人感センサーと併用が望ましい

センサーは大別すると、接触(タッチ、リモコン、マット)式と非接触式(人感式)にわかれます。
接触式はすべて無線を使用するため、電池交換が必要です。また、接触部分が摩耗してくるため、いず
れのセンサーも消耗品扱いとなります。

オートスライド・ロックは常時鍵が必要なセキュリティルームや裏口のようなところに設置するもので
す。入退室は基本的にはテンキー&カードリーダーか手のひらリモコンを使用します。

**センサーを設定する場合は必ず、オートスライドを設定完了させ、一番左のグリーンのランプがついた
状態にします。カバーは外したままにしてください。**

上記以外の新製品、仕様追加については、各センサーに付属のマニュアルをご参照ください。

1. センサーを設定する 各種無線式センサー(タッチスイッチ、リモコン、マットセンサー)

Wall Mounted
Push Button



V2 Remote
Control



Pet Sensor
Mat



無線式センサーの設定(各製品共通)

コントロールパネル部のsensor learnスイッチ(※部分)を押してください。赤く点灯し、登録モードとなります。

このときにタッチスイッチ、リモコンの場合はボタン(スイッチ)押してください。マットセンサーはケーブルを送信機とつなぎ、マットを踏んでください。sensor learnのLEDが 赤く点灯すれば、登録完了です。



a. タッチスイッチの設置

裏側が両面テープとなっております。ドアか壁に設置してください

タッチスイッチの電池交換

タッチスイッチはボタン電池CR2016を4枚使用します。電池交換時はカバーをとめてあるネジを外し、中にあるキバンをとりだし、電池ホルダーをスライドさせて、入れ替えてください。



タッチスイッチの寿命

スイッチ部やバネ等が摩耗、劣化するため、一日50開閉程度の使用で、3年を目安に交換を推奨しております。本体を定期交換してください。タッチスイッチのみの追加注文が可能です。

2. マットセンサーを設置する

マットセンサーは、マットと無線boxで1セットです。マットは床に両面テープなどで貼り付け、上に薄手のフロアマット、カーペットを敷いて使用します。敷物が厚いと反応しづらくなります。マットと無線boxをケーブルにつなぎ、オートスライド本体に登録します。マットには防水機能はございません。水没にご注意ください。



■ マットセンサーの電池交換 ■

無線BOX内のCR2016電池を4枚交換してください。出荷時のセレクトスイッチは「HUMAN」となっておりますが、何らかの理由で「PET」となっていた場合は、必ず「HUMAN」にもどしてください。



マットセンサーの寿命

マットの摩耗のため、マット部は3～5年を寿命としております。定期交換してください。交換時は無線BOXと一式となります。

■ リモコンを使用する ■

横にならぶ左右二つがタッチスイッチと同じ働きをします。下の※は、オートスライドのモードスイッチと同じ働きをします。
通常→途中停止→開放→ペット(使用せず)モードをセレクトできます。
上にあるボタンは使用しません。



リモコンの電池交換

電池交換時は裏側のビスを外してください。電池は27A12V用特殊小型電池(海外製)となります。ネット通販でお買い求め頂くか、オートスライドにご連絡ください。有償での交換対応も可能です。

■ 無線式センサーの一括消去 ■

コントロールパネル部にあるsensor learnスイッチのLED部分を8秒以上長押しすると、登録済みのすべての無線系スイッチを一括消去して初期化いたします。

人感センサー(マイクロウェーブセンサー)

オートスライドの人感センサーは、超音波式となっております。

超音波式センサーはドアのそばで動くものに、反応します。誤作動が少ないのが特徴です。
また、簡易防水タイプのため、屋外設置も可能です。

人感センサーを設置する。

人感センサーを付属のビス2点でドアの内外、無目に固定します。

推奨は床から**2000mm以上の高さです**。反対側にセンサーを設置する場合は10mmの貫通穴をあけてください。

設置後、センサー上部ないし裏側のコネクター挿入部のいずれかに専用コードを挿入してください。上部の場合は切り欠き部をあらかじめニッパーできりとってください。



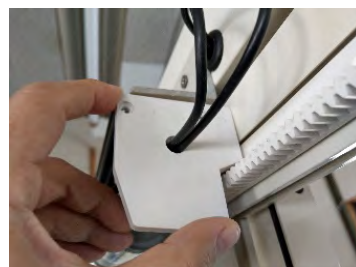
センサーとオートスライドを接続する

オートスライド本体側面カバーに電動ドリルで10mmの穴をあけ、コードを通してください。

。

オートスライドのコントロールパネルと本体を接続します。

1と2のコネクターに接続します。内と外の区別はございません。



(補助モード)

開閉はタッチスイッチ等で行い、はさまれ防止としてセンサーを使用するモードです。補助モードは**3のコネクターを使用します**。

内外の二つのセンサーを補助モードにする場合は**別売り分岐コネクターが必要です**。ファースト・レイズへお問い合わせください。



※4番センサーについては、今後発売される製品に対応予定です。

オートスライドの電源をいれた状態で、センサーのLEDが青く光ると正常に感知しています。また、その際、オートスライド中央の赤いランプも点灯いたします。

ドアの裏表に設置時はひとつずつケーブルを入れて設定してください。反対側のセンサーが感知する

と、設定できないことがございます。

センサーを設定する。

1. センサーの角度を調整する

センサーは出荷時には方向、出力調整がされておられません。お客様のドアにあわせて調整が必要です。

センサー部は手で上下左右に動かすことができます。
(上下75°左右150°)



ドアの形状にもよりますが、真下にむけた場合、ドア手前100～300mm程度、正面にむけた場合で3000mm程度まで可能です。ただし、ドアの動きを検知しないようにご調整ください。

2. センサーの感知範囲を調節する

センサーには感知範囲があり、調整可能です。

イメージとして、縦長の楕円状に感知範囲は大きくなります。

センサー左上部にある**青と黄色のポリウムネジ**をまわして調整してください。

時計まわりで範囲が狭くなり、最低で電源オフとなります。

半時計まわりで広がります。検知範囲は500～3000mm程度です。

※両引き用には

両引き（二枚のドアを中央から左右に開く）には、専用の人感センサーがございます。お問い合わせください。

超音波センサーは小型かつ精密な製品のため、落下、衝撃、熱等に弱い仕様となっております。とくに施工中による落下故障が数例報告されております。取り付け時には十分ご注意ください。

ピン参考 （外部機器出力接点接続時は黒と黄色のみを接続。短絡で、起動します）

ピン色	赤	黒	黄色
	12V(6V)	GND	NC

4.オートスライド・ロック・純正テンキー設定

オートスライドロック(鍵付き)には専用オプションとして純正テンキーがございます。6桁の暗証番号をいれると解錠し、自動でドアが開きます。

専用カードでの解錠も可能です。(併用可)

1.オートスライドを設置する

オートスライドを設定完了し、待機状態にします。

2.テンキーをケーブルでオートスライド本体とつなぐ。

本体コネクタの上から1,2番とテンキーを接続します。



テンキー登録・設定

すべての登録、変更、設定はプログラムモードに入ることで行います。

■プログラムモードへの入り方■

1. # # # # (シャープを4回)押します。
2. 赤ランプ→緑ランプ点灯で、プログラム用パスワード(初期値は1 2 3 4 5 6 #)を押してください。
- 3/ 緑が点滅すれば成功。

(プログラムパスワードは設定専用のパスワードです。入室アクセスパスワードとは別です)

■新規にカードを登録し、自動的にカード番号を割り当てる■

プログラムモードに入り、1 を押し、カードをかざします。

無登録のカードの場合、短く「ピー」と鳴り、登録済カードでは、長く「ピー」となります。

必要なだけ連続してカードを次々とかざしてください。登録後に#を押します。

登録した順番カード番号が0 0 0 1、0 0 0 2、、、、と、割り当てられます。

最後に※を押します。赤いランプ点灯で通常モードにもどります。

■入退室アクセスパスワードの変更(初期値は空白か、テスト用に123456が入っております)■

プログラムモードに入り、6 を押します。

“新しいパスワード”#“新しいパスワード”# *を押して完了です。

プログラムモード→各設定一覧

入力キー	設定内容	登録方法
0	プログラム用パスワードの変更	0 を押し、“新しいパスワード”#“新しいパスワード”# の順に入力。
1	カードを連続登録する(番号自動付与)	1 を押し、カードをかざし、登録。# で完了します。とくに管理を必要としない場合はこのモードで登録してください。最大6000枚まで登録可能です。
2	カード番号を指定して登録	2 を押し、未登録カードをかざします。“未登録カード番号”を入力し、# を入力します。登録済カードでは「ビー」というエラー音がなります。登録カードにNo.を表記するなどして管理するが必要となります。
3	カードを登録削除	3→0 を押し、カードをかざす→#、読取ったカードの登録削除。 3→1 を押す（カード番号入力）→# 入力したカード番号登録削除・ 3→2 を押す、9 9 9 9 #、登録済みすべてのカード一括削除。
4	モード(通常はカード&パスワード併用モードとしてください)	4→0 を押す。カード&パスワード併用モードに入る 日本版では、カード&パスワード併用モードを推奨しております。 4→2 を押すとパスワードのみのモードに入る。
5	開放時間を伸ばす	5→03 # で3秒間開放を延長後に閉まります
6	アクセスパスワードの設定、変更、	アクセスパスワードの設定、変更、 6 を押す “新しいパスワード”#“新しいパスワード”# （6桁のパスワード）

各モード設定後、*を入力することで通常モード(赤いランプ点灯)となります。

※純正テンキーは今後仕様が変更される場合がございます。

5.設定・再設定について

オートスライドがうまく設定できないときは、施工やドアに問題があります。以下をご確認ください

- 1) ドアそのものの戸車の状態が悪い。ドアが歪んでいる。
- 2) ドアに設置するレールが水平に施工されていない。ビスで両端が固定されていない
- 3) モータの歯車(ギア)ときつく噛みあっておらず、空転する。あるいは一部だけ重い

それらを改善したうえで、もういちど**設定(再設定)**をおこなってください。

また、すでに設置した**オートスライドを手動でむりやり動かすと**、設定が狂います。ドアが開閉を繰り返す場合は、その可能性がたかいです。その場合も**再設定**をしてください。

オートスライドの設定(再設定)方法

1. 一度本体の電源を切り、ドアを半分開いた状態にします。

く

2. 電源を投入し、ゆっくりとドアが動き出したら、
ディップスイッチ1(direction、一番左のスイッチ)を
現在入っている方向と逆へ動かします。

(手前なら奥側に倒す。奥側なら手前へ引く)



3. ドアが反対方向へ動き出したら、ふたたび**ディップスイッチ1**を
もとの方向へ動かします。(もともと手前だったら、手前へ引く、奥なら奥へ倒す)
4. 再設定がはじまります。一度目でドア幅、二度目で半分開き、ドアの重さをはかります。

5. ドアが停止、1番左グリーンランプ点灯で設定完了です。



まとめ:ディップスイッチ1(一番左の小さいスイッチ)往復させて設定(再設定)

6. 困ったときは(Q&A)

Q1.はじめて施工したときから、設定が完了しない。ドアが何度もいったりきたりする

以下の施工不良が想定されます。改善の後、再度設定してください。

1. レールがななめに施工されている。
2. レール両端がしっかりとビス締めされていない。
3. レールとギアがどこかでかみ合っていない。空転している。
4. 設定時に戸当たりがない、やわらかい、がたついている。
5. オートスライドと本体をモータを固定するビスが何らの理由でゆるんでいる。

Q2.ガリガリと大きな音がして、ギアが空転する。

オートスライドのレールと歯車がかみ合っておらず、なめてしまっています。歯車とレールがキツくかみあうように**施工改善したのち、再設定をおこなってください。**

Q3.設定動作中に同じ場所から動かない。同じ場所で戻る。

レールと本体の歯車のかみこみが強すぎます。**施工改善したのち、再設定をおこなってください。**

Q4.設定完了したが、ドアが全開したまま、とまる。

開閉方向を決めるディップスイッチ1の設定方向が間違っています。**初期化をおこなったのち、正しい方向へディップスイッチを入れてください。**

Q5.しばらく使っていたが、急にドアの開閉を繰り返すようになった

1. 人感センサーの施工不良

人感センサーを壁に固定しているビス等がゆるみをご確認ください。

2. ドアに接触してから異常がおきている場合

Q1の項目を確認し、再設定を行ってください。

上記以外の場合、センサーの故障の可能性がございます。

注意

オートスライド駆動中に手動で逆方向に大きな力をかけると、最悪、オートスライドが破損、焼損いたします。この場合、お客様起因の不具合の場合は、有償修理となります。ご了承ください。

Q6. センサーが反応していないのに、中央のランプが赤か青になったままドアが動かない

あやまってオートスライドの一時停止ボタンを押してませんか？ 1 番右のボタンを何回か押して、緑(通常モード)ランプが点灯するようにしてください。

Q7. ドアにゴムがはってある、ドアそのものがゆがんでいて、最後に少し隙間があく。

ディップスイッチの2番をオンにしてください。最後に強く押し付ける動作をいたします。

Q8. ドアの動きがどこことなくぎこちない。寒い朝などにうまく動かない。

ドアが経年による変化、季節の温度差などで、オートスライドを設置した当初とドアの負荷に変化があった可能性がございます。異常原因を確認し、改善、初期化し、最新のドア状態をオートスライドに再度読み込ませてください。

Q9. ひらいたとき、ドアが跳ね返る。行ったり来たりしている。

吊戸や新品ドア、温度差などで、設置した時よりも慣性でドアが走りすぎる場合があります。

その際、ドアが戸当たりの手前でとまらないため、オートスライドの安全装置が働き、電源を切るまで、行ったり来たりします。

再度電源を入れなおしても症状が改善しない場合は、実際に戸当たりより、10cmほど手前に疑似的に戸当たりを作成し、一度ドア幅を学習させたのち、疑似的な戸当たりを除去してください。

Q10. 安全装置がはたらかない。

オートスライドには挟まれたとき、モーターが感知し、自動でドアを開く機能がございます。それがうまく働いていない場合は、設定が完了していない可能性がございます。設定中に電源をおとしてしまったか、人感センサーを接続してしまったことが原因です。

再設定、初期化してドアを読み込ませてください。

Q11. 人感センサーが反応し、ドアが開きっぱなしになる。

人感センサーの出力が強いか、角度が悪いため、常に反応しています。一度時計まわりに回して、0 感度を最低に絞ってから、少しずつ感度を強くしてってください。角度調整も同時にしてください。

Q12.突然、ドアが開いたり、閉じたりする。

a.センサーが原因の場合

ドアの動きを拾っているか、ドアのそばに植木鉢やのれん、旗など、何かうごくものがないでしょうか？人感センサーは近くにある動くものを感知します。

b.施工不良や設置後に誰かが手でドアを動かした場合

中央の赤ランプが光らない場合、施工不具合か、誰かが設置後に手で無理矢理あけたため、設定が狂った可能性がございます。施工不具合を解消し、手で無理矢理開閉してしまった場合は、モーターのガタつき、空転なども確認しながら、再設定（初期化）をおこなってください。

Q13.調整済の人感センサーが、ある瞬間だけ、誤作動する。

1. 超音波センサーは赤外線センサーより誤作動が少ないですが、振動に弱いというデメリットがございます。とくに戸車の悪いドアや木造ドア枠に設置した場合、ガタつきをひろって不安定な動きをすることがございます。そのような場合、ドアを改善するほか、解決策はございません。
2. 人感センサーが床まで近すぎると、うまく動作しないことがございます。2000mm以下のところでは誤作動が多いか、逆に感度をよわめすぎると、反応しづらくなりますため、なるべく高めの所に本体を設置してください。

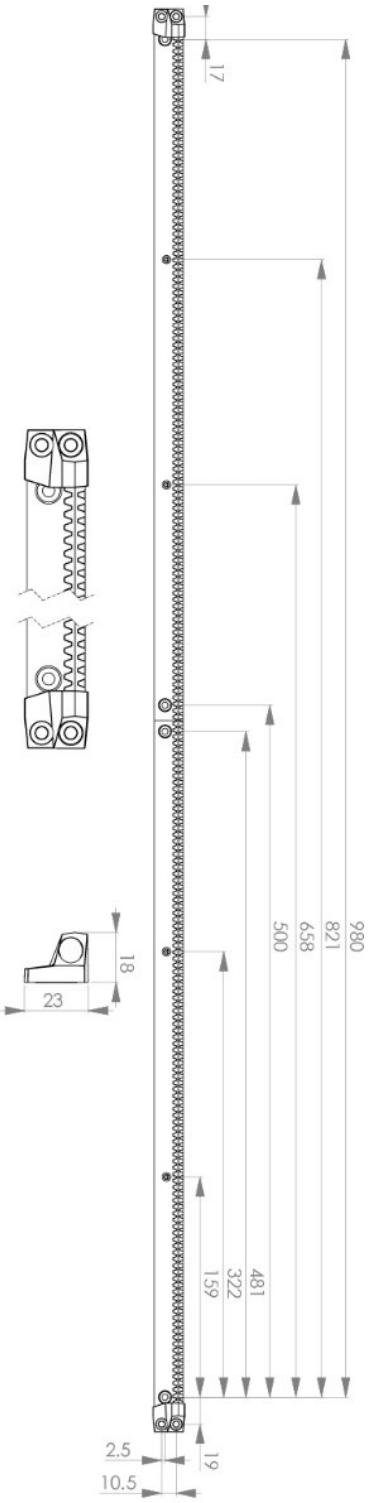
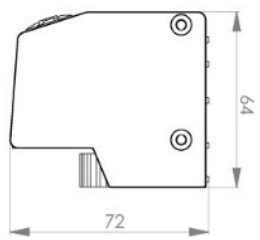
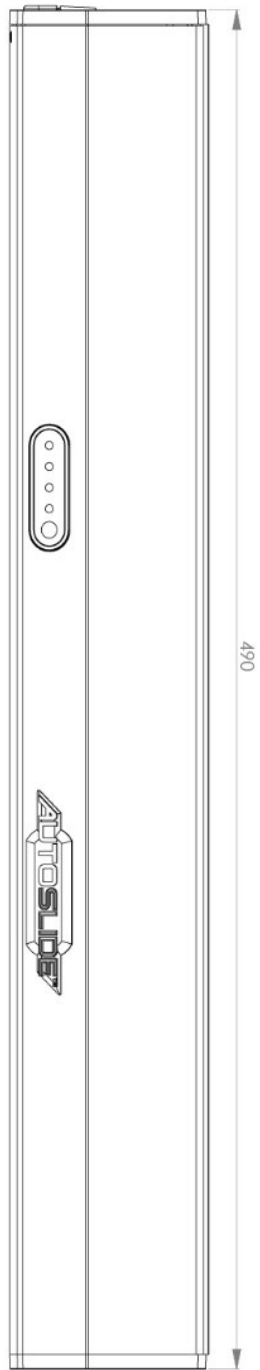
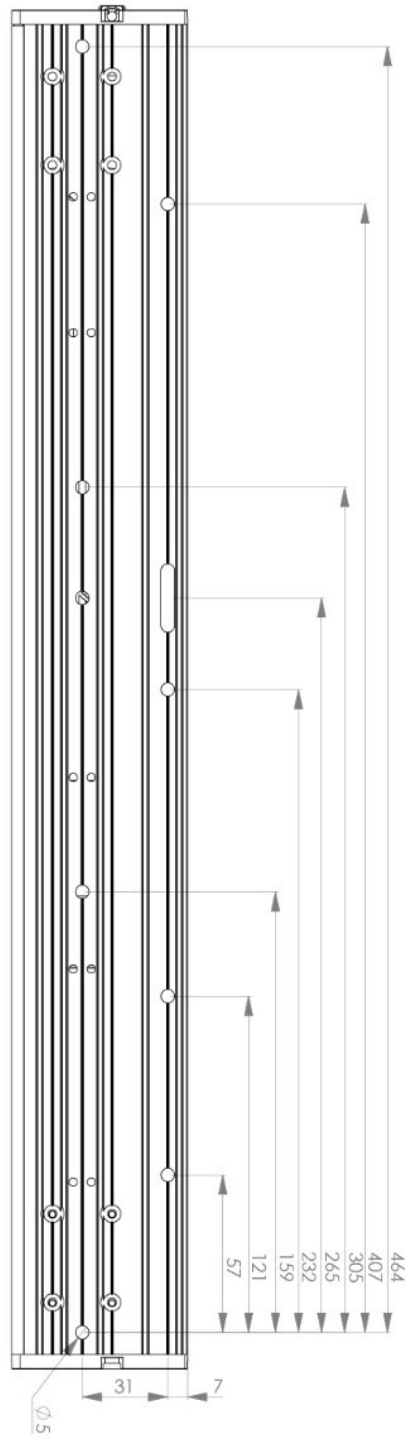
Q14.気づかないうちにドアが全開となって、とまっていた。

何らかの原因により、製品本体に異常をきたす動作を繰り返した場合、緊急停止する機能を備えています。この機能が作動する要因としては、以下の要件があります。

- 1) 過度な連続開閉によるモーターの発熱時の急停止(全開停止します)
- 2) 落雷や漏電による過電流検知(即時停止します)

上記の症状がみられた場合は、即時オートスライド使用を停止してください。過度な連続開閉の場合は、ドアに異物が挟まっている。センサーの連続検知、施工の改修、改善が必要です。

状況が改善しない場合はオートスライド・ジャパンへご連絡ください。



オートスライド 製品保証書

このたびは、私共の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本保証規定は、お買上製品に万一異常が生じた場合のサポートをお受けいただく際に必要な、保証の内容が規定されております。必ず最後までご一読の上、大切に保管していただきますよう、お願い致します。安全に十分に配慮し、正常な使用状態(マニュアル、本体記載仕様にそった使用)で故障した場合、購入いただいた私共の代理店までご連絡ください。無償修理させていただきます。

保証期間は商品がお客様のお手元に届いてから一年間となります。製品はシリアルナンバーにて管理されており、製品シリアルナンバーは本体モーター部に記載されております。

1.保証期間

オートスライドおよびその付属品、オプションの保証期間は、お買い上げ後 1年間です。

2.保証範囲

- (1) 上記保証期間中にオートスライドの製造責任による故障が発生した場合、新品交換ないし故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。上記期間外であっても製造責任上による瑕疵が認められた場合は保証対象とさせていただきます。
- (2) 訪問での故障診断は行いません。該当する製品を弊社に送付して頂くことで確認させていただきます。
- (3) 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理(保証対象外)とさせていただきます。
 - ① 本保証書のご提示がない、本保証書を紛失した場合
 - ② お客様の施工ミスによる破損・故障
 - ③ お客様による不正な修理や改造に起因する故障
 - ④ 当社製品がお客様の設備・装置と組み込まれて使用された場合、お客様の機器に起因する理由で故障した場合
 - ⑤ 火災等の不可抗力による外部要因、地震・雷・風水害等の天変地異による故障
 - ⑥ 当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障
 - ⑦ 船舶や車両、水平垂直レベルの困難な場所に設置した場合
 - ⑧ お買上後の輸送・施工時の落下、衝撃等による故障および損傷
 - ⑨ 取付許容範囲外のドア仕様および運用環境による故障および損傷
 - ⑩ 腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障

3.本製品の施工にともなう建具等への保証責務の除外

本製品の施工に伴い、設置した建具、建築物に不具合、欠損が起きた場合、その責務一切は施工者に起因するものとし、オートスライド販売者は何ら保証責務を負いません。

4.その他の保証責務の除外

期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品 の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地設備の再調整・試運転業務に対する補償については保証責務外とさせていただきます。

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

保証期間に故障が発生した場合、本書をご提示の上、弊社代理店あるいは次記までご連絡ください。

製品名	オートスライド
駆動方式	ラック&ピニオン方式
本体色	黒または白
適用ドア寸法※1	～高さ2400mm 幅3000mm～1960mmまで最大延長可能(日本版独自基準として1500mmまで)
設置可能ドア重量	45kg
色	ブラック/ホワイト
防水・防塵機能	IP20相当。防水機能なし
使用環境	0～45℃ 湿度85%以内 本体内部に結露無きこと。屋外環境で設置不可
機能※2	自動開閉機能 : センサー・スイッチによる開閉 自動安全装置 : 人や物がはさみ込まれると反転
電源	AC100V～50/60Hz 駆動部24V 3A以下
外形寸法	490mm(L)×70mm(H) ×65mm(w)ラック1000mm
本体重量	1.6Kg

お問い合わせ先:オートスライド・ジャパン(株式会社ファースト・レイズ)
群馬県桐生市川内町3-119-3 電話0277-51-4973

(オートスライド輸入販売元)
アースウォーカーレーディング株式会社

監修・作成 株式会社ファースト・レイズ